

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3250	3.利用用途別分類	スポーツ施設								
2.施設名	宮崎市高岡トレーニングセンター	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	高岡町内山2899	15.設置根拠法令	スポーツ基本法								
6.バス停	高岡(260m)	16.設置条例	宮崎市武道館条例								
7.開設年月日	平成10年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観									
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和05年3月31日		19. 内部			写真					
10.用途地域	第一種低層住居専用地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市民のスポーツの振興を図り、もって市民の健康の増進に資するため、トレーニングセンターが設置された。以前使用していた建物の老朽化に伴い、国の「産業再配置促進費補助金」を利用し、建て替えがなされた。高岡町中心部に位置し、練土館とともに高岡町の武道関係者の中心施設となっている。標高18.8m										
13.主な利用者	スポーツ少年団、柔道関係者		20.避難所の指定(標高)	指定避難所	18.80 m						
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	0.01 m ²		24. 建物情報	総延床面積	322.00 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	53550千円 (－)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1998年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度			平成28年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%		人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	2,469	79.6		3,103	－	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	308	100.0		308	－	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	利用率	8	80.0		10	－	未利用スペース	0 m ²			
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度			平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円			前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	61	110.9	55	－	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		750	100.0	750	－
	使用料(減免後)②	61	110.9	55	－	施設のコスト		0	－	0	－
	その他③	0	－	0	－	事業のコスト		0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	1	50.0	2	－	人に係るコスト		750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	4,410	333.6	1,322	－	指定管理者の支出計⑨		1,387	162.6	853	－
	指定管理料⑥	4,410	333.6	1,322	－	施設のコスト		669	233.1	287	－
	利用料金収入	0	－	0	－	自主事業以外のコスト		718	－	0	－
	自主事業収入	0	－	0	－	自主事業のコスト		0	－	0	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	0	0.0	566	－		
収入合計⑦	4,471	324.7	1,377	－	支出合計⑩	2,137	133.3	1,603	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	2	46.0	4	－	28.工事請負費・修繕費	0	－	0	－		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	61	110.9	55	－	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	5,099	252.8	2,017	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	3,023	644.6	469	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	239	189.6	126	－		
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3250	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市高岡トレーニングセンター	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	D			
	品質評価の評価(偏差値)	42.9			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	31.7			
①品質評価 劣化度数(棟平均)の評価がきわめて低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	19.000 年	56.3	26.600 年
		劣化度数(棟平均)	9.000 件	14.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	41.5	0.800 件
		評価値		42.9	
②供給評価 利用率の評価がかなり低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価がかなり低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	8.000 人	38.5	77.000 人
		稼働率	17.700 %	35.3	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.025 人	38.4	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	0.484	36.2	3.047
評価値		37.1			
③財務評価 市負担割合の評価がきわめて低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	238.610 %	27.7	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年比	252.800 %	32.1	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	15.835 千円	30.0	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	2.065 千円	15.4	0.518 千円
		評価値		26.3	
品質評価の分布図					
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3250	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市高岡トレーニングセンター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	地域住民のスポーツ推進に必要な屋内施設であるが、施設等の維持管理に費用を要している。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築劣化度点数【原因】老朽化が進んでおり、外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】階段手摺り、駐車場、誘導用床材等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率率、②稼働率(コマ利用・定員充足)、③床1㎡当たりの利用率率【原因】①、 ②、③施設利用者の多くが地域住民でほぼ限定されており、新規利用者が少ないため 【評価指標】④市負担額千円当たりの利用量【原因】利用率率が低いため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、③建物1㎡当たりの市負担額、④利用量当たりの市負担額【原因】①、 ③、④ほぼ限定された地域住民の利用となっており、利用量が低い 【評価指標】②市負担額(ソフト)前年度比【原因】②指定管理料に対し使用料収入が少ないため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ利用用途の施設は点在しているが、柔道場は他にない	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市天ヶ城歴史民族資料館、天ヶ城公園、龍福寺墓園、練士館、高岡総合支所、宮崎市高岡地 区農村環境改善センター、高岡小学校、宮崎市高岡学校給食センター、高岡福祉保健センター「穆 園館」、旧林業研修センター、中央ふれあい広場、宮崎市高岡消防団第2分団第4部消防団車庫、 高岡中学校、柳団地、芝手団地、丸山団地、旧高岡町有住宅、宮崎市農村女性の家、飯田2号街区 公園、飯田4号街区公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	内山体育館、天ヶ城公園(スポーツ施設)、練士館(練士館道場)、東高岡体育館、穆佐体育館、サン スポーツランド高岡	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線高岡バイパス中心部高岡総合支所沿い。高岡小学校敷地内。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,254人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3250	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市高岡トレーニングセンター	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討する。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点未満であり、施設建築後約20年が経過しており、平成32年度までに施設のあり方を検討する。ただし、当面は施設点検や的確な保全工事を実施する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外の場合	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討	
19	機能の評価(案)の理由	供給・財務が平均点未満となっているため、平成32年度までに施設のあり方を検討する。それまでの間は本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外の場合	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 12ページ参照)	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3250	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市高岡トレーニングセンター	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討する。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未満であり、施設建築後約20年が経過しており、令和2年度までに施設のあり方を検討する。ただし、当面は施設点検や的確な保全工事を実施する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討	
31	機能の評価の理由	供給・財務が平均点未満となっているため、令和2年度までに施設のあり方を検討する。それまでの間は本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組を行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	3260	3.利用用途別分類	スポーツ施設							
2.施設名	練士館(練士館道場)	4.利用圏域別分類	地域							
5.所在地(町名・番地)	高岡町内山2902	15.設置根拠法令	スポーツ基本法							
6.バス停	高岡小入口(170m)	16.設置条例	宮崎市武道館条例							
7.開設年月日	昭和54年1月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する							
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観	 							
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和05年3月31日									
10.用途地域	第一種住居地域									
11.財産区分	公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	1972年6月に「工業再配置促進法」が制定された。この法の目的は、工業の集積度合いが低い地域への工場移転を促進し、国民経済の健全な発展と国民の福祉向上を資することを意図している。高岡町で1974年に誘致された企業が対象となり、国庫補助対象事業として建設された。高岡町の中心部に位置し、児童・生徒の武道の練習の場として利用されている。年に数回、大会が開催されている。標高19.4m		19. 内部	 <p style="text-align: center;">写真</p>						
13.主な利用者	スポーツ少年団、剣道関係者									
14.利用者駐車可能台数	0台	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	19.40 m						
21.投票所の指定	無									
22. 土地情報	土地面積	0.01 m ²		24. 建物情報	総延床面積	390.00 m ²				
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	29402千円 (－)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	1978年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	未対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	5,686	106.5	5,338	－	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	308	100.0	308	－	耐震対応(主たる建物)	対象外			
利用率	18	105.9	17	－	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	76	124.6	61	－	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	750	100.0	750	－
	使用料(減免後)②	76	124.6	61	－	施設のコスト	0	－	0	－
	その他③	0	－	0	－	事業のコスト	0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	0	－	0	－	人に係るコスト	750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	4,410	333.6	1,322	－	指定管理者の支出計⑨	1,361	150.9	902	－
	指定管理料⑥	4,410	333.6	1,322	－	施設のコスト	643	191.4	336	－
	利用料金収入	0	－	0	－	自主事業以外のコスト	718	－	0	－
	自主事業収入	0	－	0	－	自主事業のコスト	0	－	0	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	0	0.0	566	－	
収入合計⑦	4,486	324.4	1,383	－	支出合計⑩	2,111	127.8	1,652	－	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	－	0	－	28.工事請負費・修繕費	0	－	0	－	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	76	124.6	61	－	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	5,084	252.8	2,011	－	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	3,049	726.0	420	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	241	197.8	122	－	
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3260	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	練士館(練士館道場)	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	D			
	品質評価の評価(偏差値)	41.8			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	37.7			
①品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	39.000 年	39.7	26.600 年
		劣化度数(棟平均)	3.000 件	44.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	6.000 件	13.1	0.800 件
		評価値		41.8	
②供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	18.000 人	40.3	77.000 人
		稼働率	19.300 %	36.2	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.047 人	47.2	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用率			
		土地1㎡当たりの利用率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.118	39.6	3.047
評価値		40.8			
③財務評価 市負担割合の評価がきわめて低い。 市負担額(ソフト)前年度の評価がかなり低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	240.830 %	27.3	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年度比	252.800 %	32.1	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	13.036 千円	36.8	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.894 千円	41.6	0.518 千円
		評価値		34.5	
品質評価の分布図					
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3260	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	練士館(練士館道場)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	施設建設から39年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数【原因】建設後39年以上経過している 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】スロープや点字ブロック等が設けられていない	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】①利用率率、②稼働率(コマ利用・定員充足)、③床1㎡当たりの利用率率【原因】①、②、③施設利用者の多くが地域住民でほぼ限定されており、新規利用者が少ないため 【評価指標】④市負担額千円当たりの利用量【原因】利用率率が低い	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】①市負担割合、③建物1㎡当たりの市負担額、④利用量当たりの市負担額【原因】①、③、④ほぼ限定された地域住民の利用となっており、利用量が低い 【評価指標】②市負担額(ソフト)前年度比【原因】②指定管理料に対し使用料収入が少ない	
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ利用用途の施設は点在しているが、剣道場は他にない	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市天ヶ城歴史民族資料館、天ヶ城公園、龍福寺墓園、練士館、高岡総合支所、宮崎市高岡地区農村環境改善センター、高岡小学校、宮崎市高岡学校給食センター、高岡福祉保健センター「穆園館」、旧林業研修センター、中央ふれあい広場、宮崎市高岡消防団第2分団第4部消防団車庫、高岡中学校、柳団地、芝手団地、丸山団地、旧高岡町有住宅、寺田団地、宮崎市農村女性の家、飯田1号街区公園、飯田2号街区公園、飯田4号街区公園	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	内山体育館、天ヶ城公園(スポーツ施設)、高岡トレーニングセンター、東高岡体育館、穆佐体育館、サンスポーツランド高岡	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	国道10号線高岡バイパス中心部高岡総合支所沿い。高岡小学校敷地内。	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,254人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】1.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3260	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	練土館(練土館道場)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討する。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点未満であり、築30年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、当面は施設点検および的確な保全工事を実施する。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討	
19	機能の評価(案)の理由	供給・財務が平均点未満となっているため、平成32年度までに施設のあり方を検討する。当面は使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	意見あり(別紙 13ページ参照)	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3260	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	練土館(練土館道場)	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討する。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未満であり、築30年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、当面は施設点検および的確な保全工事を実施する。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討	
31	機能の評価の理由	供給・財務が平均点未満となっているため、令和2年度までに施設のあり方を検討する。当面は使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3270	3.利用用途別分類	スポーツ施設									
2.施設名	宮崎市東高岡体育館	4.利用圏域別分類	地域									
5.所在地(町名・番地)	高岡町花見923	15.設置根拠法令	スポーツ基本法									
6.バス停	上花見(80m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例									
7.開設年月日	昭和54年2月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する									
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観										
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和05年3月31日		19. 内部									
10.用途地域	その他											
11.財産区分	公共用											
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	・社会体育の振興を通じて住民の体づくりを推進することを目的に整備された施設。(穆佐地区、内山地区にある体育館だけでは利用者のカバーができないので東高岡地区に整備したもの)。合併後は、旧宮崎市にも近いことから、利用者が増えている。平成24年度に雨漏り補修のため、屋根改修工事を行った。<標高15.9m>											
13.主な利用者	スポーツ団体、スポーツ愛好者		20.避難所の指定(標高)	指定避難所 15.90 m								
14.利用者駐車可能台数	30台		21.投票所の指定	無								
22. 土地情報	土地面積	1,908.17 m ²				24.建物情報	総延床面積	652.60 m ²				
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	51980千円 (－)				
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上2階・S・鉄骨				
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1979年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		建物所有状況	市有物件				
	利用者数	8,987	98.7	9,105	－		借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	308	100.0	308	－		耐震対応(主たる建物)	対象外				
	利用率	29	96.7	30	－		未利用スペース	26 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%			
	市の収入計① (②+③)	309	102.7	301	－			市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,814	234.1	775	－
	使用料(減免後)②	273	103.4	264	－			施設のコスト	1,064	4256.0	25	－
	その他③	36	97.3	37	－			事業のコスト	0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	0	0.0	1	－			人に係るコスト	750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	4,410	311.9	1,414	－			指定管理者の支出計⑨	1,910	125.8	1,518	－
	指定管理料⑥	4,410	333.6	1,322	－			施設のコスト	1,192	125.2	952	－
	利用料金収入	0	－	0	－			自主事業以外のコスト	718	－	0	－
	自主事業収入	0	0.0	92	－			自主事業のコスト	0	－	0	－
その他収入	0	－	0	－		人に係るコスト	0	0.0	566	－		
	収入合計⑦	4,719	275.2	1,715	－		支出合計⑩	3,724	162.4	2,293	－	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	0.0	0	－		28.工事請負費・修繕費	1,064	4256.0	25	－		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	309	78.6	393	－		31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	5,915	329.3	1,796	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	2,500	△ 2403.8	△ 104	－		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	159	202.8	78	－		
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課								

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3270	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	宮崎市東高岡体育館	4.利用圏域別分類	地域																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																																
	品質評価の評価(偏差値)		37.9																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		43.6																																
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価がきわめて低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がきわめて低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>38.000 年</td> <td>40.6</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>8.000 件</td> <td>19.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>4.000 件</td> <td>27.3</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>37.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	38.000 年	40.6	26.600 年	劣化度数(棟平均)	8.000 件	19.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	4.000 件	27.3	0.800 件	評価値		37.9					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			築年数(棟平均)	38.000 年	40.6	26.600 年																													
			劣化度数(棟平均)	8.000 件	19.5	1.900 件																													
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																													
			クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																													
バリアフリー未対応(棟平均)	4.000 件	27.3	0.800 件																																
評価値		37.9																																	
② 供給評価	② 供給評価 利用率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用率 建物1㎡当たりの利用率 土地1㎡当たりの利用率 市負担額千円当たりの利用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>29.000 人</td> <td>42.1</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>51.700 %</td> <td>54.1</td> <td>44.300 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td>0.045 人</td> <td>46.1</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.519</td> <td>41.8</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>46.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	29.000 人	42.1	77.000 人	稼働率	51.700 %	54.1	44.300 %	建物1㎡当たりの利用率	0.045 人	46.1	0.055 人	建物1㎡当たりの利用率				土地1㎡当たりの利用率				市負担額千円当たりの利用量	1.519	41.8	3.047	評価値		46.0	
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			日あたり利用者数	29.000 人	42.1	77.000 人																													
			稼働率	51.700 %	54.1	44.300 %																													
			建物1㎡当たりの利用率	0.045 人	46.1	0.055 人																													
			建物1㎡当たりの利用率																																
土地1㎡当たりの利用率																																			
市負担額千円当たりの利用量	1.519	41.8	3.047																																
評価値		46.0																																	
③ 財務評価	③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年度の評価がきわめて低い。 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。 利用量当たりの市負担額の評価が低い。	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>158.830 %</td> <td>42.6</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>273.900 %</td> <td>28.8</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>9.064 千円</td> <td>46.3</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.658 千円</td> <td>46.9</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>41.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	158.830 %	42.6	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	273.900 %	28.8	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	9.064 千円	46.3	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.658 千円	46.9	0.518 千円	評価値		41.2					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			市負担割合	158.830 %	42.6	119.619 %																													
			市負担額(ソフト)前年度比	273.900 %	28.8	140.724 %																													
			建物1㎡当たりの市負担額	9.064 千円	46.3	7.518 千円																													
			土地1㎡当たりの市負担額																																
利用量当たりの市負担額	0.658 千円	46.9	0.518 千円																																
評価値		41.2																																	
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図 																																	
			品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																
供給評価(横) / 財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)																																	
			供給評価(横) / 財務評価(縦)																																

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	3270	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市東高岡体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から39年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後39年以上経過している。 【評価指標】築劣化度点数【原因】老朽化が進んでおり、外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】点字ブロック等が設けられていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率、②床1㎡当たりの利用率【原因】①、②施設利用者の多くが地域住民で ほぼ限定されており、新規利用者が少ないため 【評価指標】③市負担額千円当たりの利用量【原因】利用率が低いため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、③建物1㎡当たりの市負担額、④利用量当たりの市負担額【原因】①、 ③、④ほぼ限定された地域住民の利用となっており、利用量が低い 【評価指標】②市負担額(ソフト)前年度比【原因】②指定管理料に対し使用料収入が少ないため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は点在している。そのため、一体的に利用すること で大規模な各種大会の開催(誘致)が可能となり、市街地での施設不足を補完することが出来るとと もに、高岡町域のスポーツ振興に寄与する。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市高岡消防団第2分団第1消防団車庫、道の駅高岡ふるさと特産品センター(ビタミン館)、小山 田集会所	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	内山体育館、天ヶ城公園(スポーツ施設)、高岡トレーニングセンター、練士館(練士館道場)、穆佐 体育館、サンスポーツランド高岡	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線高岡ビタミン館交差点を南西方向に約1km進む。上花見バス停付近。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,254人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】1.9億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3270	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市東高岡体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討する。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点未満であり、築30年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、当面は施設点検および的確な保全工事を実施する。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、平成32年度までに施設のあり方を検討	
19	機能の評価(案)の理由	供給・財務が平均点未満となっているため、平成32年度までに施設のあり方を検討する。当面は本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組を行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	意見なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3270	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市東高岡体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討する。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未満であり、築30年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、当面は施設点検および的確な保全工事を実施する。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、令和2年度までに施設のあり方を検討	
31	機能の評価の理由	供給・財務が平均点未満となっているため、令和2年度までに施設のあり方を検討する。当面は本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組を行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	2910	3.利用用途別分類	スポーツ施設								
2.施設名	宮崎市緑松体育館	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	赤江980-1	15.設置根拠法令	スポーツ基本法								
6.バス停	赤江浜入口(900m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例								
7.開設年月日	昭和57年3月20日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観	 								
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日										
10.用途地域	工業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	緑松地区にあるし尿処理場に関する環境整備の一環として地元住民への要望に応える形で設置された。指定管理者:宮崎ビルサービス(株)。施設標高:4.6m施設概要:体育室(バレー1面、バドミントン3面)、会議室				19. 内部	 					
13.主な利用者	主に社会人から高齢者の団体利用										
14.利用者駐車可能台数	17台	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	4.60 m							
22.土地情報	土地面積	2,332.00 m ²		21.投票所の指定				無			
	現況地目	宅地		24.建物情報				総延床面積	663.50 m ²		
	土地所有形態	所有			取得価額計(開始時簿価計)	83250千円 (一)					
	借受面積	0.00 m ²			階数・構造(主たる建物)	地上1階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート					
23.利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			建築年(主たる建物)	1982年			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		法定点検(主たる建物)	対象			
	利用者数	16,444	109.6	14,998	-		建物所有状況	市有物件			
	開館日数	348	100.0	348	-		借受面積	0.00 m ²			
	利用率	47	109.3	43	-		耐震対応(主たる建物)	対応済			
							未利用スペース	0 m ²			
25.収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26.支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	1,485	99.9	1,487	-		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,139	167.1	1,280	-
	使用料(減免後)②	1,415	100.2	1,412	-		施設のコスト	1,389	262.1	530	-
	その他③	70	93.3	75	-		事業のコスト	0	-	0	-
	《参考》 使用料減免額④	5	100.0	5	-		人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の収入計⑤	7,471	101.0	7,398	-		指定管理者の支出計⑨	6,391	87.5	7,308	-
	指定管理料⑥	7,379	101.0	7,308	-		施設のコスト	1,746	61.8	2,824	-
	利用料金収入	0	-	0	-		自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-		自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	92	102.2	90	-	人に係るコスト	4,645	103.6	4,484	-		
収入合計⑦	8,956	100.8	8,885	-	支出合計⑩	8,530	99.3	8,588	-		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	99.8	0	-	28.工事請負費・修繕費	1,195	276.6	432	-		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,577	100.0	1,577	-	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	8,033	113.1	7,101	-		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	1,080	1200.0	90	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	94	113.9	83	-		
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2910	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	宮崎市緑松体育館	4.利用圏域別分類	地域																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																																
	品質評価の評価(偏差値)		43.8																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		49.1																																
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>35.000 年</td> <td>43.0</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>4.000 件</td> <td>39.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>3.000 件</td> <td>34.4</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>43.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	35.000 年	43.0	26.600 年	劣化度数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件	評価値		43.8					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			築年数(棟平均)	35.000 年	43.0	26.600 年																													
			劣化度数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件																													
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																													
			クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																													
バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件																																
評価値		43.8																																	
② 供給評価	② 供給評価 利用量率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>47.000 人</td> <td>45.1</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>36.800 %</td> <td>45.9</td> <td>44.300 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.071 人</td> <td>56.5</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>2.047</td> <td>44.6</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>48.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	47.000 人	45.1	77.000 人	稼働率	36.800 %	45.9	44.300 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.071 人	56.5	0.055 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	2.047	44.6	3.047	評価値		48.0	
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			日あたり利用者数	47.000 人	45.1	77.000 人																													
			稼働率	36.800 %	45.9	44.300 %																													
			建物1㎡当たりの利用量率	0.071 人	56.5	0.055 人																													
			建物1㎡当たりの利用量率																																
土地1㎡当たりの利用量率																																			
市負担額千円当たりの利用量	2.047	44.6	3.047																																
評価値		48.0																																	
③ 財務評価	③ 財務評価 建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>94.170 %</td> <td>54.8</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>102.500 %</td> <td>56.1</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>12.107 千円</td> <td>39.0</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.489 千円</td> <td>50.6</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>50.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	94.170 %	54.8	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	102.500 %	56.1	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	12.107 千円	39.0	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.489 千円	50.6	0.518 千円	評価値		50.1					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			市負担割合	94.170 %	54.8	119.619 %																													
			市負担額(ソフト)前年度比	102.500 %	56.1	140.724 %																													
			建物1㎡当たりの市負担額	12.107 千円	39.0	7.518 千円																													
			土地1㎡当たりの市負担額																																
利用量当たりの市負担額	0.489 千円	50.6	0.518 千円																																
評価値		50.1																																	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図 																																
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦) 																															

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2910	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市緑松体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から36年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。また、小規模施設であり立地状況が悪く稼働率が低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後36年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進んでおり、外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】階段手摺り等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率【原因】小規模施設のため。 【評価指標】稼働率【原因】小規模であるため、用途が限られ立地状況も悪いため。 【指標評価】市負担額【原因】老朽化により修繕費が嵩むうえに、稼働率も悪く収入が増えないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】老朽化により修繕費が嵩むうえに、小規模施設であるため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は1箇所ある。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	緑松自治公民館、緑松甲縁、緑松街区公園、たんぼり公園、宮崎職業訓練センター、緑ヶ丘集会所、宮崎市衛生処理センター、飛江田児童プール	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	南部記念体育館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	赤江浜入口バス停から徒歩で約20分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(赤江) 【現在の人口】34,968人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】2.0億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	緑松地区にある、し尿処理施設に関する環境整備の一環として地元住民への要望に応える形で設置された。	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2910	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市緑松体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が36年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2910	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市緑松体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が36年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	2920				3.利用用途別分類	スポーツ施設												
2.施設名	宮崎市広原体育館				4.利用圏域別分類	地域												
5.所在地(町名・番地)	広原1085-1				15.設置根拠法令	スポーツ基本法												
6.バス停	住吉(1980m)				16.設置条例	宮崎市立体育館条例												
7.開設年月日	昭和60年3月5日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する												
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)				18. 外観													
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日																	
10.用途地域	その他																	
11.財産区分	公共用																	
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧款の台ごみ埋め立て場に関する環境整備の一環として地元住民の要望に応える形で設置された。指定管理者:宮崎ビルサービス株。施設標高:10.5m施設概要:体育室(バレーボール1面、バドミントン3面)、会議室				19. 内部													
13.主な利用者	主に社会人から高齢者の団体利用					20.避難所の指定(標高)	指定避難所		10.50 m									
14.利用者駐車可能台数	20台				21.投票所の指定	無												
22. 土地情報	土地面積	1,972.33 m ²				24. 建物情報	総延床面積	689.75 m ²										
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	98140千円 (－)										
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨										
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1986年										
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			法定点検(主たる建物)	対象										
		人・食	前年比%	人・食	前年比%		建物所有状況	市有物件										
	利用者数	14,723	96.8	15,213	－		借受面積	0.00 m ²										
	開館日数	348	99.7	349	－		耐震対応(主たる建物)	対応済										
利用率率	42	95.5	44	－	未利用スペース		0 m ²											
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度							
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円			前年度比%									
	市の収入計① (②+③)	1,485	92.6	1,603	－	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		1,886	11.4	16,527	－							
	使用料(減免後)②	1,415	93.9	1,507	－	施設のコスト		1,136	7.2	15,777	－							
	その他③	70	72.9	96	－	事業のコスト		0	－	0	－							
	《参考》 使用料減免額④	57	126.7	45	－	人に係るコスト		750	100.0	750	－							
	指定管理者の収入計⑤	7,435	100.9	7,371	－	指定管理者の支出計⑨		6,448	87.7	7,350	－							
	指定管理料⑥	7,379	101.0	7,308	－	施設のコスト		2,019	66.6	3,032	－							
	利用料金収入	0	－	0	－	自主事業以外のコスト		0	－	0	－							
	自主事業収入	0	－	0	－	自主事業のコスト		0	－	0	－							
その他収入	56	88.9	63	－	人に係るコスト	4,429	102.6	4,318	－									
収入合計⑦	8,920	99.4	8,974	－	支出合計⑩	8,334	34.9	23,877	－									
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	4		133.6		3		－		28.工事請負費・修繕費		0		0.0		15,582		－	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,541		92.5		1,666		－		31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		7,780		35.0		22,232		－	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	987		4700.0		21		－		市負担割合(%) (⑪÷⑩)		93		100.3		93		－	
32.施設所管課	スポーツランド推進課				33.施設主管課	スポーツランド推進課												

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2920	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	宮崎市広原体育館	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																														
	品質評価の評価(偏差値)		47.8																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		48.4																														
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>31.000 年</td> <td>46.4</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>4.000 件</td> <td>39.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>56.6</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.000 件</td> <td>41.5</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>47.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	31.000 年	46.4	26.600 年	劣化度点数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	41.5	0.800 件	評価値		47.8			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	31.000 年	46.4	26.600 年																												
		劣化度点数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																												
		クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	41.5	0.800 件																														
評価値		47.8																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>42.000 人</td> <td>44.3</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>37.600 %</td> <td>46.3</td> <td>44.300 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.061 人</td> <td>52.6</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.892</td> <td>43.8</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>46.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	42.000 人	44.3	77.000 人	稼働率	37.600 %	46.3	44.300 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.061 人	52.6	0.055 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	1.892	43.8	3.047	評価値		46.8	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数	42.000 人	44.3	77.000 人																														
稼働率	37.600 %	46.3	44.300 %																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.061 人	52.6	0.055 人																														
建物1㎡当たりの利用量率																																	
土地1㎡当たりの利用量率																																	
市負担額千円当たりの利用量	1.892	43.8	3.047																														
評価値		46.8																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>93.350 %</td> <td>54.9</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>117.000 %</td> <td>53.8</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>11.279 千円</td> <td>41.0</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.528 千円</td> <td>49.8</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>49.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	93.350 %	54.9	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	117.000 %	53.8	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	11.279 千円	41.0	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.528 千円	49.8	0.518 千円	評価値		49.9					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	93.350 %	54.9	119.619 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	117.000 %	53.8	140.724 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	11.279 千円	41.0	7.518 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	0.528 千円	49.8	0.518 千円																														
評価値		49.9																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2920	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市広原体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から31年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。また、利用用途が限定され、施設の規模が小さく開催可能な大会等も限られていることから、利用率等が低くなっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後31年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進んでおり、基礎や外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】駐車場、誘導用床材等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】利用率【原因】利用可能な競技が限定されることや、施設の規模により開催できる大会が限られていることから、利用率が低くなっている。 【評価指標】稼働率【原因】体育室の稼働率は74.3%であるが、会議室の稼働率0.8%であるため、施設全体の稼働率が低くなっている。 【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】維持管理費に対し、利用率が低いため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①建物1㎡当たりの市負担額②利用量当たりの市負担額【原因】①②利用率が低く、使用料収入が少ないにもかかわらず、修繕費、光熱水費、施設管理委託料等の維持管理費がかかるため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域に同じ利用用途の施設は無い。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	広原保育園、宮崎市広原児童プール、下之園農村公園、宮崎市住吉老人いこいの家、宮崎市消防団住吉分団第3部消防団車庫、萩の台汚水処理施設、萩の台公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道219号線広原交差点を西へ450m進んだ位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】21,675人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】2.1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	旧萩の台ごみ埋め立て場に関する環境整備の一環として地元住民の要望に応える形で設置された。	

(2)施設評価シート

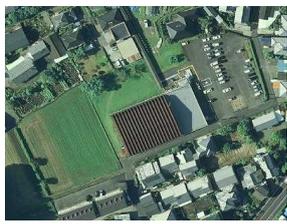
平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2920	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市広原体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が31年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏 まえた利用用途別 分類の経営の方向 性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見あり(別紙 3ページ参照)	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2920	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市広原体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が31年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	2930	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	田野町甲2942-1	15.設置根拠法令	スポーツ基本法		
6.バス停	田野総合支所前(470m)	16.設置条例	宮崎市B&G海洋センター条例		
7.開設年月日	昭和60年3月31日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(たのたい共同企業体)	18. 外観			
9.指定管理期間	平成30年4月1日～令和05年3月31日				
10.用途地域	第一種住居地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧田野町に対し、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡された施設であり、隣接する田野中学校や地域住民のスポーツ活動場所として利用されている。標高:134.0m				
					
13.主な利用者	田野中学校スポーツ少年団一般市民	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m		
14.利用者駐車可能台数	65台	21.投票所の指定	無		
22. 土地情報	土地面積	4,597.39 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	21,041	93.1	22,611	—
	開館日数	308	100.3	307	—
	利用率	68	91.9	74	—
24. 建物情報	総延床面積	1,102.27 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	7728千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1982年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		608	92.5	657	—
使用料(減免後)②		604	95.6	632	—
その他③		4	16.0	25	—
《参考》 使用料減免額④		0	0.0	7	—
指定管理者の収入計⑤		3,964	100.9	3,927	—
指定管理料⑥		3,964	100.9	3,927	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	4,572	99.7	4,584	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,234	160.3	1,394	—
	施設のコスト	1,484	230.4	644	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	942	26.8	3,520	—
	施設のコスト	942	91.1	1,034	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	0.0	2,486	—	
支出合計⑩	3,176	64.6	4,914	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	0.0	1	—	
28.工事請負費・修繕費	1,242	209.1	594	—	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	608	92.5	657	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	3,022	742.5	407	—	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	5,590	119.9	4,664	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	176	185.4	95	—
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2930	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B		
	品質評価の評価(偏差値)		45.9		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		51.0		
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	35.000 年	43.0	26.600 年
		劣化度数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.500 件	45.0	0.800 件
		評価値	45.9		
② 供給評価 利用率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	68.000 人	48.6	77.000 人
		稼働率	36.600 %	45.8	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用率	0.062 人	52.9	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用率		台	台
		土地1㎡当たりの利用率		人	人
		市負担額千円当たりの利用率	3.764	53.9	3.047
		評価値	50.3		
③ 財務評価 市負担割合の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	176.010 %	39.4	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年度比	106.800 %	55.4	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	5.071 千円	55.9	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円	千円
		利用率当たりの市負担額	0.266 千円	55.6	0.518 千円
		評価値	51.6		
品質評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)				

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度
台帳番号	2930	利用用途別分類 スポーツ施設
施設名	宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	施設建設から35年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。また、施設利用者の多くが地域住民でほぼ限定されており、利用量率等が低くなっている。
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後35年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進み基礎や外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】クレーム点数【原因】雨漏り等についてのクレームが年に数回程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】誘導用床材等のバリアフリー対応がなされていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】利用量率・稼働率【原因】施設利用者の多くが地域住民でほぼ限定されており、新規利用者が少ないため。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】利用量率が低く、使用料収入が少ないにもかかわらず、修繕費、光熱水費、施設管理委託料等の維持管理費がかかるため。
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に類似施設が点在している。そのため一体的に利用することで、大規模な各種大会の開催(誘致)が可能となり、市街地での施設不足を補充することができるとともに、田野地域のスポーツ振興に寄与する。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	田野町文化会館、第2部消防倉庫消防団車庫、田野総合支所、田野駅自転車駐車場、木材町団地、田野運動公園、田野小学校、田野総合福祉館ふれあいセンター、田野町児童センター、旧田野学校給食センター、田野中学校、南原1号街区公園、井倉地区コミュニティ消防センター(第3部)消防団車庫、上井倉団地、田野町物産センター・みちくさ、南原団地、田野消防団第3分団第7部消防団車庫、田野消防団第3分団第6部消防団車庫外4箇所
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	田野体育館、田野運動公園、宮崎市B&G海洋センター(プール)、田野南農村運動広場、ニツ山農村運動広場
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	宮崎市街地から車で30分、国道269号線から県道343号線へ進み、田野中学校の隣にあり、交通事情は良い。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】11,183人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】3.2億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設はB&G財団との契約により、施設の無償譲渡契約を締結している。契約解消の条件として、施設は解体し更地にするものと規定されている。

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2930	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとしては、利用者数を増加させるため、自主事業の開催等を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が35年経過し老朽化が進んでいるため、修繕費用が増額傾向である。しかし、施設の廃止については、B&G財団との無償譲渡契約等もあり慎重に検討すべきである。当面は、維持管理の経費節減に努めながら、施設の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外するとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2930	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとしては、利用者数を増加させるため、自主事業の開催等を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が35年経過し老朽化が進んでいるため、修繕費用が増額傾向である。しかし、施設の廃止については、B&G財団との無償譲渡契約等もあり慎重に検討すべきである。当面は、維持管理の経費節減に努めながら、施設の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号		2980		3.利用用途別分類		スポーツ施設					
2.施設名		宮崎市田野体育館		4.利用圏域別分類		地域					
5.所在地(町名・番地)		田野町乙10905-26		15.設置根拠法令		スポーツ基本法					
6.バス停		田野総合支所前(920m)		16.設置条例		宮崎市立体育館条例					
7.開設年月日		昭和51年3月31日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)		指定管理者(たのたい共同企業体)		18. 外観							
9.指定管理期間		平成30年4月1日～令和05年3月31日									
10.用途地域		その他			19. 内部						
11.財産区分		公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		旧田野町域の拠点体育施設として設立された。施設標高:137.5m施設概要:バレーボール2面、バドミントン6面		20.避難所の指定(標高)		指定避難所 137.50 m					
13.主な利用者		主に社会人や高齢者の団体利用		21.投票所の指定		有					
14.利用者駐車可能台数		72台		22.土地情報		24.建物情報					
土地面積		5,699.37 ㎡		総延床面積		1,498.26 ㎡					
現況地目		宅地		取得価額計(開始時簿価計)		6930千円 (－)					
土地所有形態		所有		階数・構造(主たる建物)		地上1階・RC・鉄筋コンクリート					
借受面積		0.00 ㎡		建築年(主たる建物)		1976年					
(区分・単位)		平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)		対象			
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況		市有物件			
利用者数		37,638	144.3	26,083	－	借受面積		0.00 ㎡			
開館日数		308	133.9	230	－	耐震対応(主たる建物)		対象外			
利用率率		122	108.0	113	－	未利用スペース		0 ㎡			
(区分・単位)		平成29年度		平成28年度		(区分・単位)		平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円	前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		1,085	159.6	680	－	市の支出計⑧ (指定管理料除く)		1,877	16.2	11,568	－
使用料(減免後)②		869	145.3	598	－	施設のコスト		1,127	10.4	10,818	－
その他③		216	263.4	82	－	事業のコスト		0	－	0	－
《参考》 使用料減免額④		0	0.0	29	－	人に係るコスト		750	100.0	750	－
指定管理者の収入計⑤		11,179	134.0	8,345	－	指定管理者の支出計⑨		10,077	125.5	8,031	－
指定管理料⑥		10,570	134.6	7,854	－	施設のコスト		2,391	105.6	2,264	－
利用料金収入		0	－	0	－	自主事業以外のコスト		0	－	0	－
自主事業収入		609	129.6	470	－	自主事業のコスト		0	0.0	796	－
その他収入		0	0.0	21	－	人に係るコスト		7,686	154.6	4,971	－
収入合計⑦		12,264	135.9	9,025	－	支出合計⑩		11,954	61.0	19,599	－
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		0	0.0	5	－	28.工事請負費・修繕費		684	6.4	10,669	－
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)		1,694	144.7	1,171	－	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		11,362	60.6	18,742	－
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)		1,102	351.0	314	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)		95	99.4	96	－
32.施設所管課		スポーツランド推進課		33.施設主管課		スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2980	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市田野体育館	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B		
	品質評価の評価(偏差値)		44.4		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.3		
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	41.000 年	38.1	26.600 年
		劣化度点数(棟平均)	4.500 件	37.0	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.500 件	45.0	0.800 件
		評価値	44.4		
② 供給評価	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	122.000 人	57.6	77.000 人
		稼働率	66.100 %	62.0	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.082 人	60.5	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	3.313	51.4	3.047
		評価値	57.9		
③ 財務評価 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	95.050 %	54.6	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年度比	132.300 %	51.3	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	7.583 千円	49.8	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.302 千円	54.8	0.518 千円
		評価値	52.6		
品質評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2980	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から41年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後41年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進み基礎や外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易補修・利用方法等の要望が年に数件寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】便所等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】施設や設備の老朽化により、防球ネットや暗幕の修繕費等が必要であったため。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	近隣に類似施設が点在している。そのため一体的に利用することで、大規模な各種大会の開催(誘致)が可能となり、市街地での施設不足を補充することができるとともに、田野地域のスポーツ振興に寄与する。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市田野北地区公民館、田野伝承芸能館、宮崎市B&G田野海洋センター、宮崎市田野運動公園、田野駅自転車駐車場、田野文化会館、宮崎市田野総合支所、救済の家、仮屋原農村公園、光団地、下屋敷	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	田野運動公園、宮崎市B&G海洋センター(体育館)、宮崎市B&G海洋センター(プール)、田野南農村運動広場、ニツ山農村運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	宮崎市街地から車で約30分、国道269号線から県道28号線へ進み、約3km。田野インターチェンジから車で約10分の田野運動公園の向かいにあり、交通事情は良い。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】11,183人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】4.4億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2980	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が41年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	田野町域における主要な屋内体育施設の一つとして利用者も多く、また、災害時における指定避難所としての役割も担っている。今後も、市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に応じて行うと共に、使用料収入の増加に向けた取組みを図る。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	2980	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市田野体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が41年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	田野町域における主要な屋内体育施設の一つとして利用者も多く、また、災害時における指定避難所としての役割も担っている。今後も、市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に応じて行うと共に、使用料収入の増加に向けた取組みを図る。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3030	3.利用用途別分類	スポーツ施設										
2.施設名	宮崎市北部記念体育館	4.利用圏域別分類	地域										
5.所在地(町名・番地)	祇園一丁目77	15.設置根拠法令	スポーツ基本法										
6.バス停	和知川原(260m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例										
7.開設年月日	昭和52年1月17日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する										
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観											
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日												
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域												
11.財産区分	公共用												
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	昭和27年から施行してきた北部土地区画整理事業が完成したことを記念して、地区住民をはじめ市民の健康増進と福祉向上に役立つ施設として建設。<施設概要>体育室(バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面、バドミントンコート4面)、会議室<指定管理者>一般社団法人宮崎市庁友会<施設設置場所の標高>5.7m	19. 内部											
13.主な利用者	主に社会人から高齢者の団体利用												
14.利用者駐車可能台数	50台	20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m										
22. 土地情報	土地面積	4,323.68 m ²				24. 建物情報	総延床面積	1,547.85 m ²					
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	99230千円 (—)					
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート					
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1977年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度			
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%		
	利用者数	63,750	99.4	64,105	—		市の収入計①(②+③)	3,660	98.0	3,734	—		
	開館日数	346	99.1	349	—		使用料(減免後)②	3,529	97.9	3,603	—		
利用率	184	100.0	184	—	その他③	131	100.0	131	—				
					≪参考≫ 使用料減免額④	484	107.3	451	—				
					指定管理者の収入計⑤	9,262	109.3	8,472	—				
					指定管理料⑥	9,262	109.3	8,472	—				
					利用料金収入	0	—	0	—				
					自主事業収入	0	—	0	—				
					その他収入	0	—	0	—				
					収入合計⑦	12,922	105.9	12,206	—				
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	12	108.4	11	—	26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度				
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	3,660	98.0	3,734	—			28.工事請負費・修繕費	市の支出計⑧(指定管理料除く)	2,595	99.5	2,607	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	1,161	278.4	417	—					施設のコスト	1,845	99.4	1,857	—
									事業のコスト	0	—	0	—
					人に係るコスト	750			100.0	750	—		
					指定管理者の支出計⑨	8,101	100.6	8,055	—				
					施設のコスト	4,651	100.0	4,649	—				
					自主事業以外のコスト	0	—	0	—				
					自主事業のコスト	0	—	0	—				
					人に係るコスト	3,450	101.3	3,406	—				
					支出合計⑩	10,696	100.3	10,662	—				
31. 市負担額⑪(⑧-①+⑥)	8,197	111.6	7,345	—	32.施設所管課	スポーツランド推進課							
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	77	111.2	69	—	33.施設主管課	スポーツランド推進課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3030	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	宮崎市北部記念体育館	4.利用圏域別分類	地域																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A																																
	品質評価の評価(偏差値)		51.1																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		62.9																																
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>40.000 年</td> <td>38.9</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>2.000 件</td> <td>49.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>56.6</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>55.7</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	40.000 年	38.9	26.600 年	劣化度数(棟平均)	2.000 件	49.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件	評価値		51.1					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			築年数(棟平均)	40.000 年	38.9	26.600 年																													
			劣化度数(棟平均)	2.000 件	49.5	1.900 件																													
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																													
			クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点																													
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件																																
評価値		51.1																																	
② 供給評価		指標の結果 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>184.000 人</td> <td>68.0</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>57.900 %</td> <td>57.5</td> <td>44.300 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.119 人</td> <td>75.1</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>7.777</td> <td>75.5</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>69.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	184.000 人	68.0	77.000 人	稼働率	57.900 %	57.5	44.300 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.119 人	75.1	0.055 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	7.777	75.5	3.047	評価値		69.0	
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			日あたり利用者数	184.000 人	68.0	77.000 人																													
			稼働率	57.900 %	57.5	44.300 %																													
			建物1㎡当たりの利用量率	0.119 人	75.1	0.055 人																													
			建物1㎡当たりの利用量率																																
土地1㎡当たりの利用量率																																			
市負担額千円当たりの利用量	7.777	75.5	3.047																																
評価値		69.0																																	
③ 財務評価		指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>76.640 %</td> <td>58.1</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>108.000 %</td> <td>55.2</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>5.296 千円</td> <td>55.3</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.129 千円</td> <td>58.7</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>56.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	76.640 %	58.1	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	108.000 %	55.2	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	5.296 千円	55.3	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.129 千円	58.7	0.518 千円	評価値		56.8					
			評価指標	平成29年度	偏差値	平均																													
			市負担割合	76.640 %	58.1	119.619 %																													
			市負担額(ソフト)前年度比	108.000 %	55.2	140.724 %																													
			建物1㎡当たりの市負担額	5.296 千円	55.3	7.518 千円																													
			土地1㎡当たりの市負担額																																
利用量当たりの市負担額	0.129 千円	58.7	0.518 千円																																
評価値		56.8																																	
品質評価の分布図																																			
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																			

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	3030	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市北部記念体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から40年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後40年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進んでおり、床や内壁にひびが見られる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域に同じ利用用途の施設はなく、また、本施設は北部土地区画整理事業完成を記念して建設された。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	鶴田街区公園、宮崎市宮崎西地区交流センター、出水口公園、中部事務所、中鶴街区公園、西霧島街区公園、霧島街区公園、宮崎市霧島児童館、和知川原街区公園、高千穂街区公園、下小松街区公園、桜ヶ丘街区公園、和知川原水防倉庫、宮崎市消防局附属棟、宮崎市消防庁舎	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	主要地方道宮崎須木線の祇園霧島通りから200m程度西進した位置にあり、最寄バス停からは徒歩3分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(田野) 【現在の人口】19,937人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】4.5億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	本施設は、田園地帯であった地域において、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図る目的で実施された北部土地区画整理事業の完成を記念して、地域住民をはじめとした市民の健康増進及び福祉向上に役立つ施設として建設された。	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3030	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市北部記念体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が40年経過し老朽化が進んでいるが、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	供給・財務の評価は平均点以上で、特に施設規模に対して利用者数が極めて多く、また、市の負担割合も低い。今後も現状の機能を維持できるよう取り組む。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3030	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市北部記念体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が40年経過し老朽化が進んでいるが、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	供給・財務の評価は平均点以上で、特に施設規模に対して利用者数が極めて多く、また、市の負担割合も低い。今後も現状の機能を維持できるよう取り組む。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	3040	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市南部記念体育館	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	恒久南二丁目1-5	15.設置根拠法令	スポーツ基本法		
6.バス停	南宮崎駅前(350m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例		
7.開設年月日	昭和54年2月28日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)	18. 外観			
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日				
10.用途地域	第二種住居地域		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	昭和39年から施行してきた南部土地区画整理事業が完成したことを記念して、地区住民をはじめ市民の健康増進と福祉向上に役立つ施設として建設。<施設概要>体育室(バレーボールコート2面、バドミントンコート4面)、会議室<指定管理者>一般社団法人宮崎市庁友会<施設設置場所の標高>5.9m				
13.主な利用者	主に社会人から高齢者の団体利用		20.避難所の指定(標高)	指定避難所 5.90 m	
14.利用者駐車可能台数	34台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	1,899.75 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	31,348	98.5	31,826	-
	開館日数	346	99.7	347	-
	利用率	91	98.9	92	-
24. 建物情報	総延床面積	1,996.02 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	143445千円 (一)			
	階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1979年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計①(②+③)		3,048	95.4	3,194	-
使用料(減免後)②		3,007	95.3	3,155	-
その他③		41	105.1	39	-
<<参考>> 使用料減免額④		101	102.0	99	-
指定管理者の収入計⑤		8,751	99.5	8,792	-
指定管理料⑥		8,751	99.5	8,792	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	11,799	98.4	11,986	-	
26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧(指定管理料除く)	1,168	3.5	33,223	-
	施設のコスト	418	1.3	32,473	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の支出計⑨	8,640	104.1	8,299	-
	施設のコスト	5,312	103.6	5,125	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	3,328	104.9	3,174	-	
支出合計⑩	9,808	23.6	41,522	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	3	106.8	3	-	
28.工事請負費・修繕費	0	0.0	32,058	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	3,048	95.4	3,194	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	111	22.5	493	-	
31. 市負担	市負担額⑪(⑧-①+⑥)	6,871	17.7	38,821	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	70	74.9	93	-
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3040	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	宮崎市南部記念体育館	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																														
	品質評価の評価(偏差値)		44.6																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.5																														
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価がきわめて低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>38.000 年</td> <td>40.6</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>7.000 件</td> <td>24.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>55.7</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>44.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	38.000 年	40.6	26.600 年	劣化度数(棟平均)	7.000 件	24.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件	評価値		44.6			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	38.000 年	40.6	26.600 年																												
		劣化度数(棟平均)	7.000 件	24.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																												
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件																														
評価値		44.6																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>91.000 人</td> <td>52.3</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>53.200 %</td> <td>54.9</td> <td>44.300 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.045 人</td> <td>46.4</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>4.562</td> <td>58.2</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>53.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	91.000 人	52.3	77.000 人	稼働率	53.200 %	54.9	44.300 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.045 人	46.4	0.055 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	4.562	58.2	3.047	評価値		53.0	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数	91.000 人	52.3	77.000 人																														
稼働率	53.200 %	54.9	44.300 %																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.045 人	46.4	0.055 人																														
建物1㎡当たりの利用量率																																	
土地1㎡当たりの利用量率																																	
市負担額千円当たりの利用量	4.562	58.2	3.047																														
評価値		53.0																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>70.060 %</td> <td>59.3</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>101.600 %</td> <td>56.2</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>3.442 千円</td> <td>59.8</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.219 千円</td> <td>56.7</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>58.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	70.060 %	59.3	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	101.600 %	56.2	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	3.442 千円	59.8	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.219 千円	56.7	0.518 千円	評価値		58.0					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	70.060 %	59.3	119.619 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	101.600 %	56.2	140.724 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	3.442 千円	59.8	7.518 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	0.219 千円	56.7	0.518 千円																														
評価値		58.0																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度
台帳番号	3040	利用用途別分類 スポーツ施設
施設名	宮崎市南部記念体育館	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から38年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後38年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進んでおり、基礎や外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】施設規模にしては少人数利用の団体が多い。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域に同じ利用用途の施設は少なく、また、本施設は南部土地区画整理事業完成を記念して建設された。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市恒久児童館、恒久小学校(校舎・給食室・児童クラブ)、宮園前街区公園、曲田街区公園、上池田街区公園、南宮崎駅自転車駐車場、八重川街区公園、元橋街区公園、大藪街区公園、片平街区公園、宮崎市恒久児童プール、片平公園、赤江小学校(校舎・給食室・児童クラブ)、赤江東中学校、赤江保育所、宮崎市赤江地域センター、城ヶ崎北街区公園、水流田街区公園、大淀東街区公園、共同利用施設吉永センター、外5箇所
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	緑松体育館
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	南宮崎駅及び最寄バス停より徒歩3分の位置にあり、交通状況は良好。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(赤江) 【現在の人口】34,968人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】5.8億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	本施設は、田園地帯であった地域において、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図る目的で実施された北部土地区画整理事業の完成を記念して、地域住民をはじめとした市民の健康増進及び福祉向上に役立つ施設として建設された。

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3040	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市南部記念体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が38年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3040	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市南部記念体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が38年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ

平成30年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3070				3.利用用途別分類	スポーツ施設					
2.施設名	宮崎市加納スポーツセンター				4.利用圏域別分類	地域					
5.所在地(町名・番地)	清武町加納丙213-4				15.設置根拠法令	スポーツ基本法					
6.バス停	下加納(140m)				16.設置条例	宮崎市立体育館条例					
7.開設年月日	平成14年4月1日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(株式会社文化コーポレーション)				18. 外観						
9.指定管理期間	平成29年4月1日～令和04年3月31日										
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	加納地区のスポーツ振興の拠点施設として、H14年に(株)NTT西日本より買収。指定管理者:宮崎ビルサービス(株)。施設概要:第一競技場、第二競技場、テニスコート。施設標高:15.3m。				19. 内部						
											
13.主な利用者	市民及び市内外の個人・団体等				20.避難所の指定(標高)	指定避難所 15.30 m					
14.利用者駐車可能台数	40台				21.投票所の指定	無					
22. 土地情報	土地面積	5,201.49 m ²				24. 建物情報	総延床面積	1,389.00 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	-			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1984年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	44,117	98.0	45,008	-	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	348	100.0	348	-	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率率	127	98.4	129	-	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	1,860	834.1	223	-		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	10,650	486.3	2,190	-
	使用料(減免後)②	1,667	-	0	-		施設のコスト	9,900	687.5	1,440	-
	その他③	193	86.5	223	-		事業のコスト	0	-	0	-
	《参考》 使用料減免額④	25	104.2	24	-		人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の収入計⑤	7,635	81.9	9,323	-		指定管理者の支出計⑨	9,245	97.6	9,471	-
	指定管理料⑥	7,184	101.9	7,047	-		施設のコスト	4,089	88.2	4,637	-
	利用料金収入	0	0.0	2,097	-		自主事業以外のコスト	885	-	0	-
	自主事業収入	451	252.0	179	-		自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	人に係るコスト	4,271	88.4	4,834	-		
収入合計⑦	9,495	99.5	9,546	-	支出合計⑩	19,895	170.6	11,661	-		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	1	1.5	100	-	28.工事請負費・修繕費	9,403	1255.4	749	-		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	2,311	92.5	2,499	-	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	15,974	177.2	9,014	-		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 1,610	1087.8	△ 148	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	80	103.9	77	-		
32.施設所管課	スポーツランド推進課				33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3070	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市加納スポーツセンター	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B		
	品質評価の評価(偏差値)		49.1		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		56.4		
①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	33.000 年	44.7	26.600 年
		劣化度数(棟平均)	2.300 件	48.0	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.700 件	50.7	0.800 件
		評価値	49.1		
②供給評価 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	127.000 人	58.4	77.000 人
		稼働率	77.700 %	68.4	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.091 人	64.3	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用量率	台		台
		土地1㎡当たりの利用量率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	2.762	48.5	3.047
		評価値	59.9		
③財務評価 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	80.290 %	57.4	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年度比	79.500 %	59.8	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	11.500 千円	40.4	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	0.362 千円	53.5	0.518 千円
		評価値	52.8		
品質評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)		供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3070	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市加納スポーツセンター	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から33年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後33年経過している。 【評価指標】築劣化度数【原因】老朽化が進んでおり、外内壁にひびがあり、雨漏り等が見られる。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】平成29年度に屋根等漏水改修工事を行ったため、前年度よりの負担額が増となった。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】平成29年度に屋根等漏水改修工事を行ったため、前年度より負担額が増となった。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は1箇所ある。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	加納公園、共同利用施設下加納センター、加納地区ふれあい広場、共同利用施設ニュータウン飛鳥センター、あさひヶ丘ニュータウン緑地広場、月見ヶ丘2号街区公園、源藤街区公園、宮崎南小学校(校舎・給食室・児童クラブ)、共同利用施設源藤センター、宮崎市南部老人福祉センター、平野台団地1号公園、南加納3号街区公園、第2次池田台2号公園、共同利用施設南加納センター、消防団大淀分団第6部消防団車庫、第1分団第18部消防機庫	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	清武体育館	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	源藤交差点を県道269号線方面へ南進した位置にある。下加納バス停より徒歩で約5分。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(清武) 【現在の人口】28,951人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】4.1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	加納地区のスポーツ振興の拠点施設として、平成14年に(株)NTT西日本より買収した。	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3070	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市加納スポーツセンター	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が33年経過し老朽化が進んでおり、平成29年度に屋根等漏水改修工事を行った。今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3070	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市加納スポーツセンター	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が33年経過し老朽化が進んでおり、平成29年度に屋根等漏水改修工事を行った。今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	3100	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市清武体育館	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	清武町西新町5-1	15.設置根拠法令	スポーツ基本法		
6.バス停	清武小前(200m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例		
7.開設年月日	昭和55年7月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(株式会社文化コーポレーション)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	平成29年4月1日～令和04年3月31日				
10.用途地域	第二種住居地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧清武町の屋内競技場の拠点施設として設置。指定管理者:宮崎ビルサービス株。施設概要:本館競技場、格技場。施設標高:17.2m。	19. 内部	 		
13.主な利用者	市民及び市内外の個人・団体等				
14.利用者駐車可能台数	93台	20.避難所の指定(標高)	指定避難所	17.20 m	
21.投票所の指定				無	
22. 土地情報	土地面積	10,955.00 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	57,337	82.2	69,760	-
	開館日数	348	100.0	348	-
	利用率	165	82.5	200	-
24. 建物情報	総延床面積	6,269.00 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	484404千円 (一)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1980年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対応済			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		1,867	856.4	218	-
使用料(減免後)②		1,634	-	0	-
その他③		233	106.9	218	-
《参考》 使用料減免額④		200	102.0	196	-
指定管理者の収入計⑤		11,678	125.2	9,331	-
指定管理料⑥		10,776	152.9	7,047	-
利用料金収入		0	0.0	1,956	-
自主事業収入		902	275.0	328	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	13,545	141.8	9,549	-	
26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	6,070	399.6	1,519	-
	施設のコスト	5,320	691.8	769	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の支出計⑨	9,319	97.8	9,532	-
	施設のコスト	4,163	93.8	4,436	-
	自主事業以外のコスト	885	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	4,271	83.8	5,096	-	
支出合計⑩	15,389	139.3	11,051	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	11	10.9	100	-	
28.工事請負費・修繕費	3,251	596.5	545	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	2,769	110.7	2,502	-	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	2,359	△ 1173.6	△ 201	-	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	14,979	179.4	8,348	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	97	128.9	76	-
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3100	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市清武体育館	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A		
	品質評価の評価(偏差値)		50.7		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		54.5		
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	37.000 年	41.4	26.600 年
		劣化度数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件		
		評価値	50.7		
② 供給評価	床面積1㎡当たりの利用量率の評価がかなり低い。	指標の結果			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	165.000 人	64.8	77.000 人
		稼働率	56.400 %	56.7	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.026 人	39.0	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
土地1㎡当たりの利用量率					
市負担額千円当たりの利用量	3.828	54.2	3.047		
		評価値	53.7		
③ 財務評価	市負担額(ソフト)前年比の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	97.340 %	54.2	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年度比	150.300 %	48.5	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	2.389 千円	62.3	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
利用量当たりの市負担額	0.261 千円	55.7	0.518 千円		
		評価値	55.2		
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					
供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3100	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市清武体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から38年経過し老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後38年経過している。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修・利用方法等の要望が年に数件程度寄せられている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの利用率【原因】施設規模は大きいですが、立地条件や駐車場に問題があり、大規模な大会等が少ないため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】市負担額(ソフト)前年度比【原因】平成29年度に観覧席手すり改修工事を行ったため、前年度より負担額が増となった。	
5	定性的な要素の分 析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は1箇所ある。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	新川街区公園、清武町文化会館、宮崎市きよたけ児童文化センター、宮崎市清武保健センター、新川団地、清武新町団地、宮崎市清武地域子育てセンター、宮崎市清武総合支所、交流プラザきよたけ四季の夢、岡団地、第4分団第7部消防機庫、宮崎市清武総合福祉センター、宮崎市清武ふるさと農産物加工センター、清武中学校、第5分団第2部消防機庫、きよたけ児童クラブ、清武幼稚園、宮崎市養護老人ホーム「清流園」、清武小学校、外20箇所	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	加納スポーツセンター	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	宮崎駅から徒歩15分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(清武) 【現在の人口】28,951人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】18.3億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3100	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市清武体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が37年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3100	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市清武体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が37年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給・財務が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3120	3.利用用途別分類	スポーツ施設								
2.施設名	宮崎市佐土原体育館	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	佐土原町下田島20688-74	15.設置根拠法令	スポーツ基本法								
6.バス停	札の辻(280m)	16.設置条例	宮崎市立体育館条例								
7.開設年月日	平成22年12月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(一般財団法人みやざき公園協会)	18. 外観									
9.指定管理期間	平成28年4月1日～令和03年3月31日										
10.用途地域	第二種住居地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧佐土原中央体育館の老朽化を受けて、市民の健康増進と地域スポーツの振興を図ることを目的に、新たな体育館を整備。<施設概要>体育室(バレーボールコート3面、バスケットボールコート1面、バドミントンコート8面)、ランニングコース、会議室<指定管理者>一般財団法人みやざき公園協会<施設設置場所の標高>25.4m		19. 内部								
13.主な利用者	スポーツ少年団、中学校、高校、一般、高齢者の団体と幅広い年代での利用がある。			20.避難所の指定(標高)	指定避難所		25.40 m				
14.利用者駐車可能台数	121台			21.投票所の指定	無						
22. 土地情報	土地面積	4,061.29 m ²				24. 建物情報	総延床面積	3,798.42 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	804406千円 (－)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	2010年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	52,290	89.8	58,225	－	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	308	100.0	308	－	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	170	89.9	189	－	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	4,581	94.6	4,845	－		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,778	206.2	1,347	－
	使用料(減免後)②	4,360	94.9	4,592	－		施設のコスト	2,028	339.7	597	－
	その他③	221	87.4	253	－		事業のコスト	0	－	0	－
	≪参考≫ 使用料減免額④	1,437	89.7	1,602	－		人に係るコスト	750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	20,422	101.1	20,192	－		指定管理者の支出計⑨	16,644	100.2	16,610	－
	指定管理料⑥	19,729	100.2	19,693	－		施設のコスト	8,298	104.6	7,934	－
	利用料金収入	0	－	0	－		自主事業以外のコスト	0	－	0	－
	自主事業収入	692	139.2	497	－		自主事業のコスト	456	148.1	308	－
その他収入	1	50.0	2	－	人に係るコスト	7,890	94.3	8,368	－		
収入合計⑦	25,003	99.9	25,037	－	支出合計⑩	19,422	108.2	17,957	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	25	95.8	26	－	28.工事請負費・修繕費	1,928	386.4	499	－		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	5,274	98.7	5,344	－	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	17,926	110.7	16,195	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	3,778	105.5	3,582	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	92	102.3	90	－		
32.施設所管課	スポーツランド推進課				33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3120	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	宮崎市佐土原体育館	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A																														
	品質評価の評価(偏差値)		54.6																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.2																														
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>7.000 年</td> <td>66.2</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>4.000 件</td> <td>39.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>56.6</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>55.7</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>54.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	7.000 年	66.2	26.600 年	劣化度数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件	評価値		54.6			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	7.000 年	66.2	26.600 年																												
		劣化度数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																												
		クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件																														
評価値		54.6																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>170.000 人</td> <td>65.6</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>59.900 %</td> <td>58.6</td> <td>44.300 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.045 人</td> <td>46.1</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>2.917</td> <td>49.3</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>54.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	170.000 人	65.6	77.000 人	稼働率	59.900 %	58.6	44.300 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.045 人	46.1	0.055 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	2.917	49.3	3.047	評価値		54.9	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数	170.000 人	65.6	77.000 人																														
稼働率	59.900 %	58.6	44.300 %																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.045 人	46.1	0.055 人																														
建物1㎡当たりの利用量率																																	
土地1㎡当たりの利用量率																																	
市負担額千円当たりの利用量	2.917	49.3	3.047																														
評価値		54.9																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>92.300 %</td> <td>55.1</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>101.900 %</td> <td>56.2</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>4.719 千円</td> <td>56.7</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.343 千円</td> <td>53.9</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>55.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	92.300 %	55.1	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	101.900 %	56.2	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	4.719 千円	56.7	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.343 千円	53.9	0.518 千円	評価値		55.5					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	92.300 %	55.1	119.619 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	101.900 %	56.2	140.724 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	4.719 千円	56.7	7.518 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	0.343 千円	53.9	0.518 千円																														
評価値		55.5																															
品質評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	3120	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から7年経過し不具合が生じ始めている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築劣化度点数【原因】雨漏り、内壁の剥がれやにひび等が見られる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの利用率率【原因】他体育館に比べて施設規模が大きい ため。【評価指標】市負担額千円当たりの利用率【原因】他体育館に比べて施設規模が 大きく、指定管理料や光熱水費等の負担が大きい。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域全体に同じ利用用途の施設は点在するが、本施設のみが観客席を有する大規模な施設とな る。	
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市商工業研修センター、久谷地区学習等供用施設、広瀬北小学校(校舎・児童クラブ)、梅野地 区学習等供用施設、倉庫(旧13部消防機庫)、平松地区学習等供用施設、宮崎市佐土原総合支 所、宮崎市佐土原保健センター、宮崎市佐土原総合文化センター、佐土原交流プラザ、松小路地区 学習等供用施設、春日台地区学習等供用施設、久峰中学校、広瀬中央保育所、小松台地区学習等 供用施設、広瀬中学校、梅野団地、外12箇所	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	佐土原地区農村環境改善センター、佐土原武道館、久峰総合公園、佐土原西体育館、那珂地区農 業構造改善センター、佐土原西運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	佐土原駅より徒歩5分、最寄バス停より徒歩3分の位置にあり、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(佐土原) 【現在の人口】34,359人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】11.1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3120	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が7年経過し不具合が生じ始めている。本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3120	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が7年経過し不具合が生じ始めている。本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給が平均点未満となっている項目があるが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3160				3.利用用途別分類	スポーツ施設					
2.施設名	宮崎市佐土原武道館				4.利用圏域別分類	地域					
5.所在地(町名・番地)	佐土原町下那珂12900-2				15.設置根拠法令						
6.バス停	佐土原高校前(320m)				16.設置条例	宮崎市武道館条例					
7.開設年月日	昭和61年3月31日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(一財)みやざき公園協会)				18. 外観						
9.指定管理期間	平成31年4月1日～令和06年3月31日										
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	佐土原町のほぼ中央に、スポーツの振興及び健康増進のために設置。老若男女を問わず、また、武道のみの利用に止まらず、様々な用途で幅広く人々に利用されている。指定管理者名:一般財団法人みやざき公園協会 標高:34.3m				19. 内部						
13.主な利用者	市民					20.避難所の指定(標高)	指定避難所		34.30 m		
14.利用者駐車可能台数	70台					21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	16,446.00 m ²				24. 建物情報	総延床面積	759.16 m ²			
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)		69000千円 (－)				
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)		地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)		1986年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	14,002	102.2	13,696	－	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	359	100.0	359	－	耐震対応(主たる建物)	対応済				
	利用率	39	102.6	38	－	未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	242	94.5	256	－		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	750	6.7	11,273	－
	使用料(減免後)②	225	95.3	236	－		施設のコスト	0	0.0	10,523	－
	その他③	17	85.0	20	－		事業のコスト	0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	29	966.7	3	－		人に係るコスト	750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	2,064	100.4	2,056	－		指定管理者の支出計⑨	1,736	102.1	1,700	－
	指定管理料⑥	1,715	100.0	1,715	－		施設のコスト	889	105.6	842	－
	利用料金収入	0	－	0	－		自主事業以外のコスト	0	－	0	－
	自主事業収入	349	102.3	341	－		自主事業のコスト	165	99.4	166	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	682	98.6	692	－		
収入合計⑦	2,306	99.7	2,312	－	支出合計⑩	2,486	19.2	12,973	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	11	909.6	1	－	28.工事請負費・修繕費	0	0.0	10,523	－		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	591	99.0	597	－	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	2,223	17.5	12,732	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	328	92.1	356	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	89	91.1	98	－		
32.施設所管課	スポーツランド推進課				33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3160	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	宮崎市佐土原武道館	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																														
	品質評価の評価(偏差値)		47.0																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.6																														
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 クレーム点数の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>31.000 年</td> <td>46.4</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>1.000 件</td> <td>54.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>3.000 点</td> <td>37.7</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.000 件</td> <td>41.5</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>47.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	31.000 年	46.4	26.600 年	劣化度数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	3.000 点	37.7	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	41.5	0.800 件	評価値		47.0			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	31.000 年	46.4	26.600 年																												
		劣化度数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																												
		クレーム点数	3.000 点	37.7	4.300 点																												
バリアフリー未対応(棟平均)	2.000 件	41.5	0.800 件																														
評価値		47.0																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>39.000 人</td> <td>43.7</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td></td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.051 人</td> <td>48.7</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>6.299</td> <td>67.5</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>53.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	39.000 人	43.7	77.000 人	稼働率		%	%	建物1㎡当たりの利用量率	0.051 人	48.7	0.055 人	建物1㎡当たりの利用量率		台	台	土地1㎡当たりの利用量率		人	人	市負担額千円当たりの利用量	6.299	67.5	3.047	評価値		53.3	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数	39.000 人	43.7	77.000 人																														
稼働率		%	%																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.051 人	48.7	0.055 人																														
建物1㎡当たりの利用量率		台	台																														
土地1㎡当たりの利用量率		人	人																														
市負担額千円当たりの利用量	6.299	67.5	3.047																														
評価値		53.3																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>89.420 %</td> <td>55.7</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>100.600 %</td> <td>56.4</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>2.928 千円</td> <td>61.0</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.159 千円</td> <td>58.0</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>57.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	89.420 %	55.7	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	100.600 %	56.4	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	2.928 千円	61.0	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額		千円	千円	利用量当たりの市負担額	0.159 千円	58.0	0.518 千円	評価値		57.8					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	89.420 %	55.7	119.619 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	100.600 %	56.4	140.724 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	2.928 千円	61.0	7.518 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額		千円	千円																														
利用量当たりの市負担額	0.159 千円	58.0	0.518 千円																														
評価値		57.8																															
品質評価の分布図																																	
供給評価・財務評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	3160	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原武道館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から31年経過しており、老朽化に伴う施設の不具合がクレームの原因となっている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後31年経過している。 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の改善・補修・利用方法等の要望や雨漏り等のクレームが1ヶ月に数件程度寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】階段手摺り、誘導用床材等のバリアフリー対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率②建物1㎡当たりの利用率【原因】①②少人数の利用団体が多い	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域全体に利用用途が似た施設が点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	久峰総合公園、光陽台地区学習等供用施設、広瀬西小学校、小牧台地区学習等供用施設、広瀬中央保育所、久峰中学校、北消防署北部出張所、佐土原町清掃センター、久峰団地、第三光ヶ丘終末処理場、旭町団地、光ヶ丘団地	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	佐土原体育館、佐土原地区農村環境改善センター、久峰総合公園、佐土原西体育館、那珂地区農業構造改善センター、佐土原西運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	主要地方道宮崎インター佐土原線の佐土原駅前交差点から1.5km西進した位置にあり、また、最寄バス停より徒歩3分の位置にある。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(佐土原) 【現在の人口】34,359人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】2.9億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	通商産業省工業再配置促進費補助事業による施設建設。	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3160	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原武道館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	築年数が31年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	品質・供給が平均点未満となっている項目があるが、財務評価は平均点以上となっており特に市負担割合が低い。本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3160	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原武道館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取組みとして、市負担額の軽減のために使用料の最適化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築年数が31年経過し老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	品質・供給が平均点未満となっている項目があるが、財務評価は平均点以上となっており特に市負担割合が低い。本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号	3180	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市佐土原西体育館	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	佐土原町上田島8386-6	15.設置根拠法令			
6.バス停		16.設置条例	宮崎市体育館条例		
7.開設年月日	昭和55年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(一般財団法人みやざき公園協会)	18. 外観	 		
9.指定管理期間	平成28年4月1日～令和03年3月31日				
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	広瀬地区に佐土原中央体育館建設後、那珂地区及び西佐土原地区住民の要望により、両地区の中間地点に設置された。施設内に佐土原出張所が併設されている。指定管理者名:一般財団法人みやざき公園協会 標高:31.4m				19. 内部
13.主な利用者	地域住民				
14.利用者駐車可能台数	80台				
20.避難所の指定(標高)	指定避難所	31.40 m			
21.投票所の指定		無			
22. 土地情報	土地面積	5,137.83 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	42,018	105.6	39,782	-
	開館日数	308	100.0	308	-
	利用率	136	105.4	129	-
24. 建物情報	総延床面積	1,982.53 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	495500千円 (-)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1980年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	対象外			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		1,415	104.7	1,351	-
使用料(減免後)②		1,411	104.8	1,347	-
その他③		4	100.0	4	-
《参考》 使用料減免額④		78	101.3	77	-
指定管理者の収入計⑤		5,835	100.2	5,825	-
指定管理料⑥		5,835	100.2	5,825	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	7,250	101.0	7,176	-	
26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	11,158	614.4	1,816	-
	施設のコスト	10,408	976.4	1,066	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の支出計⑨	6,264	96.0	6,526	-
	施設のコスト	3,930	97.0	4,051	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	2,334	94.3	2,475	-	
支出合計⑩	17,422	208.8	8,342	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	5	96.9	5	-	
28.工事請負費・修繕費	10,257	1177.6	871	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	1,415	104.7	1,351	-	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	△ 429	61.2	△ 701	-	
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	15,578	247.7	6,290	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	89	118.6	75	-
32.施設所管課	スポーツランド推進課	33.施設主管課	スポーツランド推進課		

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3180	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市佐土原西体育館	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B		
	品質評価の評価(偏差値)		49.6		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		53.4		
① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	37.000 年	41.4	26.600 年
		劣化度数(棟平均)	4.000 件	39.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	55.7	0.800 件
		評価値		49.6	
② 供給評価 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	136.000 人	60.0	77.000 人
		稼働率	41.500 %	48.5	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.069 人	55.5	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	2.697	48.1	3.047
		評価値		53.0	
③ 財務評価 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	89.420 %	55.7	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年度比	98.200 %	56.8	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	7.858 千円	49.2	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.371 千円	53.3	0.518 千円
		評価値		53.8	
品質評価の分布図					
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3180	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原西体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から35年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数、劣化度点数【原因】施設建設から35年以上が経過しており、建物内外にひび割れ等がみられる	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率率(コマ利用・定員充足)、②市負担額千円当たりの利用量 【原因】①、②平日の日中の利用が少ない	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額 【原因】屋上屋根防水改修工事をおこなったため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	地域全体に同じ利用用途の施設が点在している。また、施設内に佐土原総合支所佐土原出張所が併設されているほか、災害時の指定避難所に指定されており、施設の用途が多岐に渡る。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	西野久尾地区学習等供用施設、佐土原中学校、城址公園、追手地区コミュニティーセンター、佐土原小学校、宮崎市佐土原地区公民館、宝塔山公園、宮崎テクノリサーリパーク交流研修センター、佐土原西運動広場、今坂団地、追手団地、新町団地、宝塔山団地、佐土原消防団第1分団第2・4部消防団車庫、佐土原歴史資料館、下村団地	
7	利用圏域内にあ る市の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	佐土原体育館、佐土原地区農村環境改善センター、那珂地区農業構造改善センター、佐土原武道館、久峰総合公園、佐土原西運動広場	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設と しての位置づけの 有無。有の場合は 内容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道219号沿線に位置し、佐土原中前バス停下車徒歩1分と交通事情は良好である	
11	施設の所在地付 近における現在人 口及び将来人口の 動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(佐土原) 【現在の人口】34,359人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】5.8億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	施設内に佐土原総合支所佐土原出張所が併設されている	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3180	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原西体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、必要な修繕を必要な時期に行う。 「質の向上」の取り組みとしては、利用者の増に取組むほか、使用料の見直しを検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	昭和55年開設施設で一部劣化は見られるものの、重大な不具合は生じていない。今後も定期的・日常的施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	本施設は用途が多岐に渡っている。加えて利用率も高く、団体競技等の需要に適した施設であることから、今後も継続する。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組を行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3180	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市佐土原西体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の修繕更新費用を削減するため、必要な修繕を必要な時期に行う。 「質の向上」の取り組みとしては、利用者の増に組み込むほか、使用料の見直しを検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	昭和55年開設施設で一部劣化は見られるものの、重大な不具合は生じていない。今後も定期的・日常的施設点検や的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外るとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	本施設は用途が多岐に渡っている。加えて利用率も高く、団体競技等の需要に適した施設であることから、今後も継続する。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※30が「廃止」以外るとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号		3190		3.利用用途別分類		スポーツ施設					
2.施設名		那珂地区農業構造改善センター(体育館)		4.利用圏域別分類		地域					
5.所在地(町名・番地)		佐土原町東上那珂14503-1		15.設置根拠法令							
6.バス停		那珂小前(730m)		16.設置条例		宮崎市農業構造改善センター条例					
7.開設年月日		昭和63年4月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)		直営		18. 外観							
9.指定管理期間											
10.用途地域		その他			19. 内部						
11.財産区分		公共用									
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		新農業構造改善事業により、農村生活環境改善の一環として建設され、また、農産加工室とも隣接しており、地域住民の集いの場となっている。標高:18.2m									
13.主な利用者		地域住民		20.避難所の指定(標高)		— 18.20 m					
14.利用者駐車可能台数		30台		21.投票所の指定		無					
22. 土地情報	土地面積	1,727.60 m ²				24. 建物情報		総延床面積	629.00 m ²		
	現況地目	宅地						取得価額計(開始時簿価計)	— (—)		
	土地所有形態							階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート		
	借受面積	0.00 m ²						建築年(主たる建物)	1988年		
23. 利用情報	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	7,288	96.0	7,588	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	308	100.7	306	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	24	96.0	25	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度		26. 支出	(区分・単位)	平成29年度		平成28年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	352	93.1	378	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	2,122	141.2	1,503	—
	使用料(減免後)②	352	93.1	378	—		施設のコスト	1,372	182.2	753	—
	その他③	0	—	0	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	352	93.1	378	—	支出合計⑩	2,122	141.2	1,503	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	—	0	—	28.工事請負費・修繕費	678	691.8	98	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	352	93.1	378	—	31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	1,770	157.3	1,125	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	83	111.4	75	—		
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3190	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	那珂地区農業構造改善センター(体育館)	4.利用圏域別分類	地域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A		
	品質評価の評価(偏差値)		53.5		
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		51.1		
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	29.000 年	48.0	26.600 年
		劣化度数(棟平均)	0.000 件	59.5	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	5.000 点	56.6	4.300 点
	バリアフリー未対応(棟平均)	1.000 件	48.6	0.800 件	
	評価値		53.5		
② 供給評価	利用量率の評価が低い。 稼働率(コマ利用・定員充足)の評価がかなり低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。	指標の結果			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	24.000 人	41.1	77.000 人
		稼働率	22.700 %	38.1	44.300 %
		建物1㎡当たりの利用量率	0.038 人	43.4	0.055 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
	土地1㎡当たりの利用量率				
	市負担額千円当たりの利用量	4.118	55.8	3.047	
	評価値		44.6		
③ 財務評価		指標の結果			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均
		市負担割合	83.410 %	56.8	119.619 %
		市負担額(ソフト)前年度比	106.300 %	55.5	140.724 %
		建物1㎡当たりの市負担額	2.814 千円	61.3	7.518 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
	利用量当たりの市負担額	0.243 千円	56.2	0.518 千円	
	評価値		57.5		
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					
供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3190	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	那珂地区農業構造改善センター(体育館)	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析(総括)	施設建設から29年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】築年数【原因】施設建設後29年経過している 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】車椅子利用者用駐車場がないため	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】①利用率(コマ利用・定員充足)、②稼働率、③建物1㎡当たりの利用率 【原因】①～③施設利用者の多くが地域住民でほぼ限定されており、新規利用者が少ないため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は点在している	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	那珂地区公民館、那珂地区農業構造改善センター(農産加工実習室)、那珂小学校、佐土原学校給食センター、宮崎テクノロジーパーク交流研修センター、伊倉地区農業構造改善センター、石崎川ふれあい公園、佐土原消防団第4分団第7部消防団車庫、那珂団地、下村団地、佐土原消防団第4分団第8消防団車庫、新宮地区営農研修施設	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	佐土原地区農村環境改善センター(体育館)、佐土原体育館、佐土原武道館、久峰総合公園、佐土原西体育館	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	県道14号線信成町交差点を南進した先にある。那珂小前バス停から徒歩で約5分の位置にある	
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(佐土原) 【現在の人口】34,359人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】1.9億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	新農業構造改善事業により、農村生活改善の一環として建設された	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度
台帳番号	3190	利用用途別分類 スポーツ施設
施設名	那珂地区農業構造改善センター(体育館)	利用圏域別分類 地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。 「質の向上」の取り組みとしては、本施設の管理形態が不確定な状況ではあるが、市負担額の削減のため使用量の適正化を検討する。
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続
16	建物の評価(案)の理由	築29年以上であり老朽化が進んでいるため、平成26年度に屋根改修工事を実施した。今後も施設点検や的確な保全工事の実施により建物の長寿命化に取り組む。
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続
19	機能の評価(案)の理由	供給が平均点未満となっているが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から、使用料収入の増加を図りながら継続する
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	施設稼働率増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組む長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし
24	アンケート(施設利用者)	対象外

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3190	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	那珂地区農業構造改善センター(体育館)	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。 「質の向上」の取り組みとしては、本施設の管理形態が不確定な状況ではあるが、市負担額の削減のため使用量の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	築29年以上であり老朽化が進んでいるため、平成26年度に屋根改修工事を実施した。今後も施設点検や的確な保全工事の実施により建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	供給が平均点未満となっているが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から、使用料収入の増加を図りながら継続する	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組 ※30が「廃止」以外のとき	施設稼働率増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成30年度

1.台帳番号		3290		3.利用用途別分類		スポーツ施設														
2.施設名		宮崎市穆佐体育館		4.利用圏域別分類		地域														
5.所在地(町名・番地)		高岡町小山田973		15.設置根拠法令		スポーツ基本法														
6.バス停		穆佐小前(140m)		16.設置条例		宮崎市立体育館条例														
7.開設年月日		平成23年10月1日		17.市の計画		現状のまま当面は存続する														
8.施設運営形態(指定管理者)		指定管理者(宮崎ビルサービス株式会社)		18. 外観	 															
9.指定管理期間		平成30年4月1日～令和05年3月31日																		
10.用途地域		第一種住居地域																		
11.財産区分		公共用																		
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)		<p>・穆佐小学校の移転改築に伴い、移転先にある既存穆佐体育館を穆佐小学校屋内運動場として利用し、既存穆佐小学校屋内運動場(1971/12・建築)を社会体育施設(穆佐体育館)として機能交換を行い(H23.9.1)、翌月から使用開始(なお、正式な供用開始の月日は平成24年3月1日)。<標高12.9m></p>		19. 内部	 															
13.主な利用者		スポーツ団体、スポーツ愛好者																		
14.利用者駐車可能台数		70台																		
20.避難所の指定(標高)		指定避難所 12.90 m																		
21.投票所の指定		無																		
22. 土地情報	土地面積		598.79 m ²		24. 建物情報	総延床面積		598.79 m ²												
	現況地目		学校用地			取得価額計(開始時簿価計)		-		(一)										
	土地所有形態					階数・構造(主たる建物)		地上1階・S・鉄骨												
	借受面積		0.00 m ²			建築年(主たる建物)		1971年												
23. 利用情報	(区分・単位)		平成29年度		平成28年度		法定点検(主たる建物)		未対象											
			人・食		前年比%		人・食		前年比%											
	利用者数		7,318		114.6		6,384		-											
	開館日数		308		100.0		308		-											
利用率率		24		114.3		21		-												
建物所有状況						建物所有状況		市有物件												
借受面積						借受面積		0.00 m ²												
耐震対応(主たる建物)						耐震対応(主たる建物)		対象外												
未利用スペース						未利用スペース		58 m ²												
25. 収入	(区分・単位)		平成29年度		平成28年度		(区分・単位)		平成29年度		平成28年度									
			千円		前年度比%		千円		前年度比%		千円		前年度比%							
	市の収入計① (②+③)		365		110.9		329		-		市の支出計⑧ (指定管理料除く)		2,298		138.7		1,657		-	
	使用料(減免後)②		301		101.7		296		-		施設のコスト		1,548		170.7		907		-	
	その他③		64		193.9		33		-		事業のコスト		0		-		0		-	
	《参考》 使用料減免額④		5		166.7		3		-		人に係るコスト		750		100.0		750		-	
	指定管理者の収入計⑤		4,410		315.2		1,399		-		指定管理者の支出計⑨		1,574		116.2		1,354		-	
	指定管理料⑥		4,410		333.6		1,322		-		施設のコスト		856		108.6		788		-	
	利用料金収入		0		-		0		-		自主事業以外のコスト		718		-		0		-	
	自主事業収入		0		0.0		77		-		自主事業のコスト		0		-		0		-	
その他収入		0		-		0		-		人に係るコスト		0		0.0		566		-		
収入合計⑦		4,775		276.3		1,728		-		支出合計⑩		3,872		128.6		3,011		-		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))		2		162.9		1		-		28.工事請負費・修繕費		1,491		366.3		407		-		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)		365		89.9		406		-		31.市負担額⑪ (⑧-①+⑥)		6,343		239.4		2,650		-		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)		2,836		6302.2		45		-		市負担割合(%) (⑪÷⑩)		164		186.1		88		-		
32.施設所管課		スポーツランド推進課		33.施設主管課		スポーツランド推進課														

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3290	3.利用用途別分類	スポーツ施設																														
2.施設名	宮崎市穆佐体育館	4.利用圏域別分類	地域																														
5.基礎評価																																	
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																														
	品質評価の評価(偏差値)		40.4																														
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		43.4																														
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>44.600 年</td> <td>35.1</td> <td>26.600 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>2.500 件</td> <td>47.0</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>4.000 点</td> <td>38.5</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>47.2</td> <td>4.300 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>3.000 件</td> <td>34.4</td> <td>0.800 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>40.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	44.600 年	35.1	26.600 年	劣化度数(棟平均)	2.500 件	47.0	1.900 件	耐震対応(棟平均)	4.000 点	38.5	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点	バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件	評価値		40.4			
		評価指標	平成29年度	偏差値	平均																												
		築年数(棟平均)	44.600 年	35.1	26.600 年																												
		劣化度数(棟平均)	2.500 件	47.0	1.900 件																												
		耐震対応(棟平均)	4.000 点	38.5	4.700 点																												
		クレーム点数	4.000 点	47.2	4.300 点																												
		バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	34.4	0.800 件																												
評価値		40.4																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>24.000 人</td> <td>41.2</td> <td>77.000 人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>57.700 %</td> <td>57.4</td> <td>44.300 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.040 人</td> <td>44.2</td> <td>0.055 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.154</td> <td>39.8</td> <td>3.047</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	24.000 人	41.2	77.000 人	稼働率	57.700 %	57.4	44.300 %	建物1㎡当たりの利用量率	0.040 人	44.2	0.055 人	建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	1.154	39.8	3.047	評価値		45.7	
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
日あたり利用者数	24.000 人	41.2	77.000 人																														
稼働率	57.700 %	57.4	44.300 %																														
建物1㎡当たりの利用量率	0.040 人	44.2	0.055 人																														
建物1㎡当たりの利用量率																																	
土地1㎡当たりの利用量率																																	
市負担額千円当たりの利用量	1.154	39.8	3.047																														
評価値		45.7																															
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成29年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>163.820 %</td> <td>41.7</td> <td>119.619 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>216.300 %</td> <td>37.9</td> <td>140.724 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>10.593 千円</td> <td>42.6</td> <td>7.518 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.867 千円</td> <td>42.2</td> <td>0.518 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>41.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成29年度	偏差値	平均	市負担割合	163.820 %	41.7	119.619 %	市負担額(ソフト)前年度比	216.300 %	37.9	140.724 %	建物1㎡当たりの市負担額	10.593 千円	42.6	7.518 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.867 千円	42.2	0.518 千円	評価値		41.1					
評価指標	平成29年度	偏差値	平均																														
市負担割合	163.820 %	41.7	119.619 %																														
市負担額(ソフト)前年度比	216.300 %	37.9	140.724 %																														
建物1㎡当たりの市負担額	10.593 千円	42.6	7.518 千円																														
土地1㎡当たりの市負担額																																	
利用量当たりの市負担額	0.867 千円	42.2	0.518 千円																														
評価値		41.1																															
品質評価の分布図																																	
供給評価・財務評価の分布図																																	
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																																	

(2)施設評価シート

		平成30年度施設評価	平成30年度
台帳番号	3290	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市穆佐体育館	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	施設建設から47年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】①築年数、②劣化度点数【原因】①、②施設建設後47年以上経過している。 【評価指標】耐震点数【原因】平成22年度に耐震対応している 【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易補修・利用方法等の要望が年に数件寄せられている。 【評価指標】バリアフリー未対応【原因】スロープや点字ブロック等が設けられていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①利用率、②床1㎡当たりの利用率【原因】①、②稼働率は高いが、少人数団体の 利用が多いため、稼働率が小さくなった。 【評価指標】③市負担額千円当たりの利用量【原因】利用率が低いため	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】①市負担割合、③建物1㎡当たりの市負担額、④利用量当たりの市負担額【原因】①、 ③、④ほぼ限定された地域住民の利用となっており、利用量が低い 【評価指標】②市負担額(ソフト)前年度比【原因】②指定管理料に対し使用料収入が少ないため	
5	定性的な要素の分 析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は点在している。そのため、一体的に利用すること で大規模な各種大会の開催(誘致)が可能となり、市街地での施設不足を補完することが出来るとと もに、高岡町域のスポーツ振興に寄与する。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	児童クラブ(穆佐小学校)、旧穆佐小学校、高岡老人福祉館「百寿荘」、宮崎市高岡デイサービスセン ター、宮崎市小山田集会所、サンスポーツランド高岡、穆佐団地、(旧)穆佐中学校、宮崎市高岡消 防団第1分団第1部消防団車庫、穆佐小学校、宮崎市農業団地センター、穆佐水防倉庫、八久保団 地、祇園団地、祇園台汚水処理場	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	内山体育館、天ヶ城公園(スポーツ施設)、高岡トレーニングセンター、練士館(練士館道場)、東高 岡体育館、サンスポーツランド高岡	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道10号線「高岡町営水流」交差点より県道13号線を南西方向へ進み(途中県道352号線とな る)、「宮崎市麓」交差点付近。バス停「穆佐小前」近く	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】399,565人(平成29年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(平成57年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(高岡) 【現在の人口】11,254人(平成29年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2020年代 【建て替えの事業費(概算)】1.7億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	なし	

(2)施設評価シート

平成30年度施設評価		平成30年度	
台帳番号	3290	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市穆佐体育館	利用圏域別分類	地域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価の(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築40年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検および的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	供給・財務が平均点未満となっているが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取組み(案) ※18が「廃止」以外 のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

平成30年度施設評価			平成30年度
台帳番号	3290	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市穆佐体育館	利用圏域別分類	地域
26	総合評価(総括)	建物の評価のは「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとして、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。「質の向上」の取り組みとして、市負担額の削減のために使用料の適正化を検討する。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築40年を超え老朽化が進んでいるが、本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検および的確な保全工事の実施により、建物の長寿命化に取り組む。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※27が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	供給・財務が平均点未満となっているが、本市における屋内スポーツ施設としての必要性から使用料収入の増加を図り、市負担額の削減を行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削除する具体的な取り組み ※30が「廃止」以外のとき	指定管理者と連携し、施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」と「質の向上」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	